

「各駅停車の心で」

「だから、明日のことを思い煩ってはならない。明日のことは明日自らが思い煩う。その日の労苦は、その日だけで十分である。」（聖書協会共同訳 マタイ6:34）

「明日のことまで思い煩うな。明日のことは明日自らが思い煩う。その日の苦労は、その日だけで十分である。」と主イエス様は語つておられます。心に響く御言葉ですし、励まされます。

私が京都のウイリアムズ神学館在学中に、ある信徒の方が私におっしゃった言葉があります。それは「いつも各駅停車でいて下さいね。」という言葉です。

その言葉の意味するところは、新幹線や特急電車のようにではなく、すべての駅に停車して、すべての人を確実に乗せてくれる電車のような心を持っていてくださいねと受け止めました。そして、私は大切な言葉としています。

私たちはいつも日々の忙しさのあまりに、先の事、将来のことを思いながら、先の事ばかりを考えてしまつばかりいて、「今」という時、もう二度とないこの瞬間を生きていないのでないでしょうか。主イエス様は

「今、どう生きるか」ということを大切にされました。「今」という時を大切に過ごして参りたいと思います。

また、高速社会、情報化社会に生きるわたしたちが一番見失いつつあるものは人ととの対話ではないでしょうか。あまりにもスピ

ード化が進み、周囲が見えなくなっていないでしょうか。キリストの教会はこのような現代社会においてだからこそいつも周囲をよく見渡して、歩みはゆっくりでもすべての人を大切に思い、すべての人が神様に愛されているのだという事をどんな時代においても伝えなければならぬと思います。

コロナウイルス感染症拡大のため盛岡聖公会も公開の礼拝が休止されています。

病院に入院されている方、施設に入居されている方との面会は全く出来ません。でも、こんな時だからこそ、お互いに電話やお手紙などで安否を尋ねあうことを大切にしたいですね。（司祭 ステパノ 越山哲也）

